



所内 第12回 写真コンクール入選作「節理」地質部 水野篤行

「節理」

一見 三角形および菱形の石を規則正しくつんだ石垣のように思われるが 実は30°程度にかたむく 砂岩頁岩の互層中の砂岩層の底面を下から撮影したものである。頁岩部は風雨によって侵食され このように砂岩層が突起した形で残されている。頁岩部では節理の発達が非常にわるいが 砂岩部では 時として このような非常に規則正しい節理が発達することが多い。とくに多少時代が古い地層ではそうである。ところどころで三角形の石材がぬげ落ちて その跡が写真では黒色の三角形を形づくっている。自然は偉大なる芸術家の一人というよりは むしろ最も偉大なる芸術家である。その創造の一端 (秀作かどうか むしろ駄作かもしれない) に対して コンクール投票者の票が集まったのであろう。場所は紀伊半島南部 古第三紀牟婁層群の一部。

・地質調査所月報 第17巻 第12号

報 文

片田正人・大森真子：領家帯の変成粗粒砂岩の化学成分
大森えい・片田正人：領家帯の塩基性岩との接触部で見られる花崗岩の成分変化の1例
高橋 稔・後藤隼次：佐賀・福岡県筑紫平野東部地域における工業用地下水源

概 報

石狩炭田北部音江山地域新城南部の地震探査について(市川)

資 料

珪酸塩岩石および天然珪酸塩の分光分析主成分元素の定量 (一國訳)

地質ニュース	第148号	12月号
昭和41年12月25日	定価	¥220 円
編集	発行	
発行人	工業技術院	地質調査所
発行所	林 久	雄
	株式会社	実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の1	
	Tel. (261) 7173・9387	
	振替口座	東京 32466
総発売元	政府刊行物	販売所
	東京都千代田区大手町1の5	
	Tel. (211) 5570	
印刷所	共同印刷	株式会社

訂正 No. 145 1966-9 60頁写真説明文中 下から11行目 慶長地震(1605)は 元禄地震(1703)の誤植につき訂正します。